

2016 支局 1この年

美馬支局・岡島久夫

「いらっしやいまは約130平方メートル。毎月2回(第1・3水曜)

社会参加のステップに

みまカフェオープン

池田支援学校美馬分校に7月6日、県内の支援学校では初めてとなる喫茶店がオープンした。分校に通う生徒が店員として接客サービスや調理補助などを担当する「支援学校みまカフェ」だ。

カフェは校舎の1階に設けられ、調理室やテラス席も含めた広さ

の午前11時半〜午後2時(営業しており、コーヒー、紅茶、ジュースと月替わりのケーキ注文取り、配膳などの作業を、接客マニュアルに従って行う。

初めは緊張していたが訪れた。その多くは保護者や学校関係者だが、地元住民も1日数人が来店し、くつろいだひとときを過ごす。10月の同校文化祭では70人が足を運び、オープン初日の115人に

初めは緊張していたが訪れた。その多くは保護者や学校関係者だが、地元住民も1日数人が来店し、くつろいだひとときを過ごす。10月の同校文化祭では70人が足を運び、オープン初日の115人に

初めは緊張していたが訪れた。その多くは保護者や学校関係者だが、地元住民も1日数人が来店し、くつろいだひとときを過ごす。10月の同校文化祭では70人が足を運び、オープン初日の115人に



「みまカフェ」がオープンし、来店者に飲食物を運ぶ生徒＝7月、池田支援学校美馬分校

かれ、延べ約400人が訪れた。その多くは保護者や学校関係者だが、地元住民も1日数人が来店し、くつろいだひとときを過ごす。10月の同校文化祭では70人が足を運び、オープン初日の115人に

設けられている。小さな喫茶店が地域に「みまカフェは、あいさつや周りを見て動くことを学べる貴重な機会」と中井教頭。この